

株式会社ヤマダ電機様

次世代パソコンバンキング／端末認証サービス
「VALUX」導入で、資金集中処理を大幅に迅速化

家電量販大手の株式会社ヤマダ電機(以下、ヤマダ電機)は、全国展開している約500拠点の支店や子会社の売上管理業務に用いている金融システムの迅速化を目指して、金融機関の次世代パソコンバンキングを利用するために、NTTデータが提供する端末認証サービス「VALUX」を導入した。これまで1店舗当たり1分以上かかっていた処理時間を数秒にまで短縮するなど大幅な効率化を果たし、スピード経営に不可欠な迅速性を確保、さらなる競争力強化に向けたコスト削減を実現した。

株式会社ヤマダ電機

本店所在地 〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
創 業 1973年4月
資 本 金 710.1億円(2010年3月末現在)
事 業 概 要 「お客様第一」の視点で創意工夫を実践し、スピード経営とローコスト経営に取り組み続けることで売上高は2兆円を超え、全国47都道府県への店舗展開を果たし、専門量販店初のナショナルチェーンを実現した。家電販売業界のリーディングカンパニーとして地域密着型のフランチャイズ事業やリサイクル事業の強化、「ECO活動」にも積極的に取り組んでおり、エリアNo.1を目標にさらなるチェーン拡充を目指している。
U R L <http://www.yamada-denki.jp/>

先進のITを駆使したスピード経営やローコスト経営で競争力強化に挑む

都心の繁華街に大型店舗を続々とオープンしてライバル店を圧倒、豊富な品ぞろえや魅力的な低価格で消費者の心をつかむなど、その一挙一動に大きな注目が集まるヤマダ電機。2009年度の売上高が国内家電量販店として初めて2兆円(連結)を突破、経常利益が1,000億円を超え、経常利益率も過去最高に達するなど、家電量販業界のリーディングカンパニーとして、常に積極的なビジネスを展開している。

品ぞろえ・サービス・価格の3本柱に利便性を加えた顧客満足度を追求する戦略を展開し、急成長を続けるビジネスを支えているのが、徹底したスピード経営とローコスト経営の実践だ。急速な店舗展開を図り、価格競争を続ける中で、経営トップの経営判断から売場店員の行動に至るまでスピードを最重要視するとともに、常に業務改善に目を光らせ、徹底したコスト削減によって高コスト体質の回避に努めてきた。



そうした同社のスピード経営やコスト削減の実践にとって不可欠なのが、ITの活用だ。POSシステムも競合他店に先駆けて1986年に導入。売上や在庫管理をはじめ、人事や経理など、社内のある

ゆる業務システムとの連携を図ることで大幅な効率化を実現した。2005年には家電量販店として初めて47都道府県すべてに出店して店舗ネットワークを構築。さらに、ビジネス環境の急変に伴う経営判断を直ちにシステムに反映して成果を上げられるよう、情報システムの開発を手がける部署を社内にも有するなど、ITを業務に積極的に活用してきた。

そんな同社が、全国展開する販売店舗などの売上管理に用いてきた金融機関のバンキングサービスに関して、これまで資金移動や残高照会に要していた膨大な処理時間を大幅に削減し、ビジネスの迅速化とシステムの信頼性向上を図るために導入したのが、NTTデータが提供する端末認証サービス「VALUX」だ。

資金集中処理の大幅な時間短縮が図れる「VALUX」に大きな期待

ヤマダ電機は、全国で約500拠点に及ぶ販売店舗や物流会社を有しており、すべての拠点の経理処理は、2008年に群馬県前橋市から高崎市に移転した本社で集中管理している。1店舗1口座という拠点ごとの口座を設けて、本社側で月3回の指定日に残高照会を実施、各店舗の売上は本社の口座へと資金移動が行われる。約500拠点すべてを対象に迅速な資金集中処理を行うことで、グループ全体の経営実態の把握に努め、経営戦略などに役立てていた。

こうした資金集中管理は、金融機関のパソコンバンキングサービスを利用しているが、サービスへのアクセスは回線速度の遅い公衆回線経由(ダイヤルアップ接続)に限られていた。そのため1回の資金集中処理を行うのに、残高照会のための回線接続・切断(30秒)～残高規定値の確認～資

金移動のための回線接続・切断(30秒)というように、1拠点当たり1分以上の処理時間を要しており、約500拠点の処理が完了するまでには膨大な時間がかかっていた。また店舗エリアによって異なる複数の銀行と契約しているため、資金集中管理業務はきわめて煩雑となり、急速な店舗展開を続ける中で処理時間はかさむ一方で、月次決算の遅れからスピード経営を鈍らせかねない事態も生じていたという。

そうした状況に対して、「店舗が増えたからといってその度に人員を補充するわけにはいかない。経理や財務の仕事にとって、ITの活用なしに業務効率化やコスト削減を図ることは不可能」と、管財本部 本部長 取締役兼執行役員専務CFOの茂木守氏も語るとおり、処理時間の短縮に向けた解決策が急務となっていた。

そうした折、同社のメインバンクであるみずほ銀行から導入を勧められたパソコンバンキングは、NTTデータが提供する端末認証サービス「VALUX」を利用するものだった。「VALUX」はこれまでの公衆回線に代わり、インターネット回線を用いてパ



株式会社ヤマダ電機
管財本部 本部長
取締役兼執行役員専務CFO
茂木 守氏

ソコンバンキングが利用できるサービスで、回線の高速化により処理待ち時間が解消され、大幅な時間短縮を図ることが可能となる。同じくインターネット回線を用いるインターネットバンキングでは、取引する銀行ごとにログインする必要があり、銀行のサイトによって使い勝手が異なるのに対し、

「VALUX」では専用ソフトウェアの画面上に複数の金融機関の口座が表示されるため、金融機関同士の資金移動なども簡単に行うことができ、業務効率化にもつながる。さらにセキュリティについては、専用ソフトウェアを用いてアクセスするため、フィッシングやなりすましを防ぐことができる。その上、パソコン内部に保存されるデータや通信を介してやりとりするデータもSSLで暗号化され、「VALUX」側で電子証明書による端末認証を行うため、手軽に高い安全性を確保することが可能だ。

ボトルネックとなっていた公衆回線に代えて、大幅な時間短縮が期待できることから、ヤマダ電機ではすぐさまサービスの導入を検討。一部の業務を対象に試験運用を行った結果、大幅な時間短縮が図れたことから、資金集中管理への本格導入が実現することとなった。

約500拠点の処理時間を大幅に短縮 加速するスピード経営に大きく貢献

ヤマダ電機では、従来のパソコンバンキングから「VALUX」へのスムーズな移行を果たし、本サービスによる新たな環境により資金集中処理の大幅な時間短縮を実現した。具体的には、約500拠点のうち本サービスの利用対象である約400口座に関して、従来は処理が完了するまでに最短でも約3時間半程度かかっていた上、通信トラブルが時折発生したり、取引時の待ち時間が発生したりして所用時間が予想できずにいた。しかし新システ

ムでは信頼性の高いネットワーク環境のもと、集中管理業務に伴う作業を含めても約1時間半で処理が確実に完了するなど、大幅な時間短縮が実現した。

刻々と売上が入金されるなど各支店の口座がリアルタイムに動いている中、入金処理を1秒でも長く待った末に、できるだけ短時間で資金移動が完了するのが望ましい。管財本部 経理・財務担当 上席執行役員 坂入 義弘氏からは、「本サービスを導入したことで、ベストなタイミングで資金集中できるようになった。月次決算についても、より正確な数字を役員会に提出でき、的確な経営判断に役立てられる環境が整った。導入メリットは大きい」との評価を得ている。



株式会社ヤマダ電機
管財本部 経理・財務担当
上席執行役員
坂入 義弘氏

なお、公衆回線を経由する既存のパソコンバンキングサービス(資金集中処理)にはDDX-TP網と呼ばれる通信ネットワークを利用しているが、DDX-TP網は数年後のサービス廃止が決まっており、ダイヤルアップ接続用の通信モデムの生産も減少している。各金融機関は、代替サービスである「VALUX」への早急な移行が求められている。

ヤマダ電機では、メインバンクとの取引を

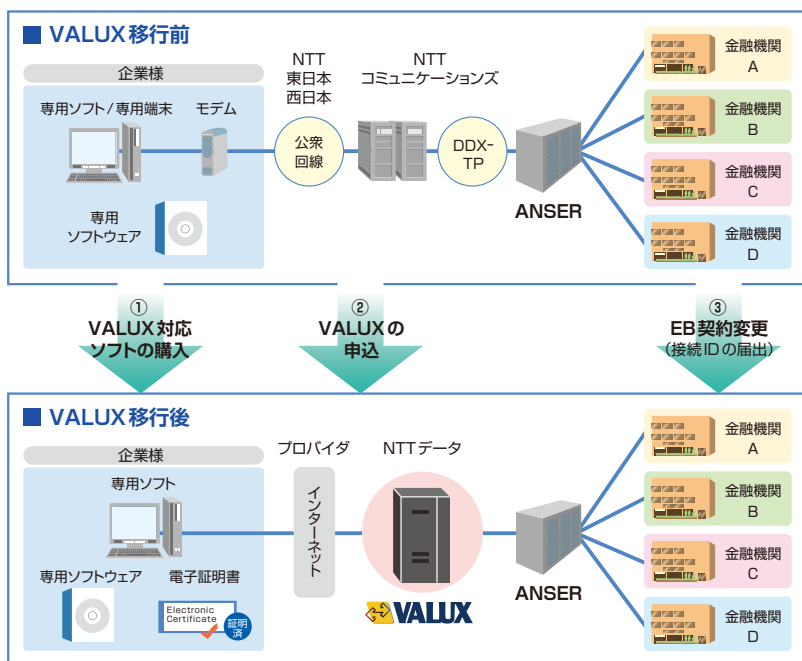
VALUXにいち早く切り替えたことで、集中管理処理の大幅な高速化が実現。「VALUX」非対応の金融機関向けには、公衆回線を経由したDDX-TP網を併用する環境となっているが、今後VALUXに対応する金融機関が増えれば、さらなる処理の高速化や利便性の向上、通信コストの削減が可能となる。こうした状況について、IT事業本部 システム事業部 システム開発課の深堀健一氏は、「残り約100拠点が『VALUX』に対応することで、よりいっそうの処理の高速化やコスト削減が期待できる。使い勝手の向上も図られるので、他の金融機関は一刻も早くサービスに対応してほしい」と期待を寄せる。

2010年度中には同社初の海外店舗を中国に出店する予定であるなど、成長に向けて意欲的にビジネスを展開するヤマダ電機。商品である家電製品のライフサイクルも短くなる中で、いっそうのスピード経営が求められ、キャッシュ・フローを重視したローコスト経営に向けてさらなるIT活用が求められている。NTTデータでは、急速な環境変化への対応を図るヤマダ電機のビジネスを今後ともサポートしていきたい考えだ。



株式会社ヤマダ電機
IT事業本部 システム事業部
システム開発課
深堀 健一氏

利用イメージ



導入メリット

■従来のパソコンバンキングの悩みをVALUXで解消

	before	after
取引時間短縮	電話回線を使って金融機関に接続すると時間がかかる。大量の取引データを処理する際には大きなストレス	インターネット回線だから、取引データのやり取りがスピーディー。取引時の処理待ち時間は大幅に短縮
モデム不要	電話回線を使うアナログのモデムが壊れたので、交換しようとしたが「在庫なし」。Windows7に対応したソフトを使いたいのだが...	インターネットに接続できる環境さえあれば、モデムは不要。PCにインストールする専用ソフトはWindows7にも対応

■従来のインターネットバンキングの悩みをVALUXで解消

同じ画面 同じ操作	取引する金融機関ごとに、その都度ログインするのは面倒。しかも、各サイトの使い勝手が違うので煩雑	個々の金融機関ごとにログインする必要はない。複数金融機関との取引を、同じ画面・操作性で利用できる
万全のセキュリティ対策	外部に口座情報等の個人情報データを保存することに抵抗感がある なりすましやフィッシングなどのインターネット犯罪の脅威が気になる	データは企業様側のパソコンで管理可能。保存データは暗号化される 専用ソフトで接続するので、ブラウザに起因するセキュリティリスクが少なく安心
複数金融機関の口座管理が簡単	インターネットを使って、複数金融機関の口座間の資金移動、取引データの加工がしたいのだが...	資金管理サービスなどの高機能サービスを利用できる。PC上で取引データを加工するのも簡単

株式会社NTTデータ

VALUXカスタマーセンター

TEL.0570-041800

※一部ご利用できない場合がございます。

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4334-1800までおかけ直してください。

<http://www.valux.ne.jp/> (商品サイト)

<http://www.nttdata.co.jp/services/casestudy/case51/> (お客様事例)